

行政視察報告書

令和7年 5月 29日

長浜市議会議長 高山 亨 様

長浜市議会議員

北川 陽大

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

- 視察等名 令和7年度 つなぐ長浜 議会質問
- 視察期間 令和7年5月20日（火）21日（水）
- 視察場所及び目的
 - 福井県福井市
「福井市順化小学校での公民館と小学校の一体化の効果」
 - 埼玉県川越市
「都心近郊での観光地での観光客一人あたりの単価の上げ方、また、宿泊数増加のための工夫」

4. 調査内容感想等

・視察の目的

福井市 福井順化小学校での公民館と小学校の複合化で、教育環境の向上と地域コミュニティとの接点を作る取り組みの効果。

視察の内容

福井市順化小学校は老朽化した小学校の改修と同時に、空き校舎を公民館として利活用する試みをスタートした。これによって公民館を閉鎖し、小学校と公民館（長浜市におけるまちづくりセンターの役割）を一つの公共施設内におさめることに成功している。今後の公共施設の統合の参

長 浜 市 議 会

考になると考える。

■事業の背景と方針

順化小学校は校舎の老朽化が進み、児童数の減少から空き教室が増えていた。

また順化公民館は老朽化と耐震性に劣ることから建て替えや移転の必要があった。

このため、学校に公民館の機能を小学校に移転し、空き教室の有効活用と共に校

舎の長寿命化を行い、学校環境の確保と公民館機能の充実を図ることにした。

さらに、順化小学校と順化公民館の複合化は、児童と中高齢者など多様な世代の

交流を容易にし、同地区の活性化を期待した。

◎ (改修前)

・順化小学校 築年数 北校舎 S45、S47 南校舎 S41、S42 延べ床 4742 平米

耐震工事 H18～19 に済み

・順化公民館 築年 S45 延べ床 1,057 平米

○ (改修後)

長寿命化と共に小学校と公民館の建物を仕切るための改修

改修時期 第一期 H30, 12月～R1, 7月 第二期 R1, 7月～R2, 2月

建物の面積配分 順化小学校 3,600 平米 順化公民館 1,037 平米

・複合化するにあたっての配慮

1階が公民館、2・3階が小学校のエリアとなっております。

また、1階には小学校の特別教室も一部含まれている。

・生徒数の激減

小学校の生徒数がピークの1000人超から全学年120人と激減したので、教室が余っている。現在は全学年1クラス×6学年しかない。

・公民館の館長

館長は順化小学校の元校長先生を採用している。そのため、小学校と公民館の交流がスムーズになっている。

・万が一の子供たちの安全を守るために

小学校側には入口での防犯カメラ、各仕切りでの施錠には電子錠を採用するなど、非常に気を遣っている。

特に小学校の入り口はカメラ付きインターホンにて確認して対応している。

・課題

複合化することによって新たな課題は特にない。

・今後の小学校と公民館の複合化

今のところ未定だが、福井市施設マネジメント等の計画で検討していくことになるそうだ。

■長浜市との違いと参考にするべきこと

公民館、長浜でいうの「まちづくりセンター」だが、福井市の場合は公民館が生涯学習課であり教育委員会の管理下にある。そのため、公民館と小学校の複合化がスムーズに進んだ。

今後、長浜市は学校、まちづくりセンター、図書館などの複合化は必須だと考える。そのため、関連する課を同じ部局下にすることが必要だと考える。

・視察の目的**■川越市**

都心から一時間内の観光地での観光客あたりの単価の上げ方、また、宿泊数増加のための工夫

・視察内容

川越市は東京都心から電車で約40～50分で到着できる、日帰り観光地と広く認識されている。

これは立地的に有利な面もあれば、日帰り観光がすんでしまう、つまり客単価を上げることが難しい課題があると考えます。日帰り観光が多い点は長浜市も同様であり、観光コンテンツや宿泊に向けての工夫などをどのようにされているか学びたい。

また、日帰り観光の中でも客単価を上げるために工夫されていることなどがあれば参考になると考えます。

■川越市と長浜市の共通点

蔵造の街並みが観光の中心。秋の川越まつり（山車祭り）が最も大きな行事であること。

旧銀行の建物を生かし、改修した小江戸テラスという観光施設が2024年5月にオープンし、観光中心地の新たなランドマークとなっている。

これは長浜市における黒壁ガラス館のような存在である。

■川越市の強み

・名産品と言えるものがある。さつまいも、うなぎ、地ビールとなっている。

特に、さつまいもを使ったスイーツを前面に打ち出している。

また東京都心から電車で最速(急行型)30分~40分という距離の強さがある。そのため、日帰りが大半とはいえ年間観光客数は770万人を誇る。

・川越きもの日

「きものが似合うまち川越」を合言葉に毎月8、18、28日を着物の日と制定している。着物のレンタル店も多い(約10店舗ほど)が、着物で来店した方は各加盟店で飲食、買い物をすると優待サービスが受けられる。

着物で歩く街のプロモーションに力を入れている。

結果、若者が着物をレンタルして、蔵造り町並み～川越氷川神社周辺部を散策しながらグルメを楽しむ旅スタイルが定着している。

特に若者への発信に力を入れていて、インスタグラムを活用して#川越着物で検索してもらうことの呼びかけを行っている。

「きものが似合うまち川越」を普及させる一番の要因は、着物10店が周知させるために非常に力を入れた。

着物のレンタル料を安く設定している。一人2,000円/日とかなり破格の価格。

しかし、安くする代わりにインスタでアップしてもらうなど拡散してもらえる工夫を民間が行っている。

・鉄道会社とのプロモーションで若者が訪れたいくなるポスターやSNS発信にも力を入れている。

■川越市の単価が上がらない課題

日帰り客91%。宿泊客9%となっている。

これが客単価が上がらない課題となっている。

■インバウンド

東京都心部から近いこともあって、インバウンドは右肩上がりである。コロナ前の2019年に31万3千人だったインバウンドの観光客数は2024年度は69万9千人と倍以上に上がっている。

■川越山車まつり会館

見るだけではなく、体験型を意識している。

長浜の曳山博物館は見るのが主体になっているので、祭りを体感してもらうコーナーなどは特に外国人にウケがよい。

■駐車場

長浜と同じく駐車場は不足している。また景観の問題で、立体駐車場は観光地周辺にはない。

そのため、バスは民間の旅行会社が保有している駐車場に止めてもらうことにしている。

普通自動車も駐車場は不足している。平日は市の持ち物である駐車スペースを無料駐車場として開放している。

■川越市の観光客の客単価

日帰り 川越市 6600 円 長浜市 4800 円より 1800 円高い。

宿泊 川越市 39,600 円(令和 6 年) 19,600 円(令和 5 年度)

※なぜ一年でここまで跳ね上がったのかは市でも認識できない。

わかっていることはここ一年で宿泊施設の宿泊料が一年で平均 6000 円上がっていることだ。

※長浜市は宿泊客の単価が 22,000 円～26,000 円を前後している。

川越では日帰り観光の 75%が 4 時間以内の滞在となっており、このことが日帰り観光客の単価が上がらない原因の一つでもあると考えられている。

■現在取り組みはじめたことと今後の展開

川越まつりの山車曳きに関して、山車曳き体験で観光客からお金をいただき、山車を所有する町にお金が還元できる仕組みを考えている。

建物のオーナーが高齢化し建物の維持が厳しい場合でも、町並みの景観を守るために改修費用に関しては市が補助している。

建物のオーナーは安く改修でき、テナントの借主は耐震など安心して古い建物でも借りることが出来るようにしている。

■本市で生かせること

黒壁や商店街の再生に向けて

現在は物品の販売よりも、歩きながら食べるファストフード感覚の飲食や、体感型の店舗が単価を上げていることが多いことがわかった。

物品販売に関しては、直接川越の観光には関係しない、LINEスタンプの「ちいかわショップ」が大人気など、流行に左右されがちのようだ。

現在、長浜市では黒壁が集客力はあるけれども、単価が上がりにくいので一つの参考にはなると感じた。

逆に、川越市は町づくりは行政主導に頼られてしまい、長浜のように民の力が弱いことが非常に大きな課題となっているようだ。

そのため、本市の良い伝統である民の力の継続、次世代への民間主導の町づくりの継承は本当に重要なことだと感じる。